

2020年11月12日

2020年10月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は前月に引き続き学参テキストが堅調に推移したのに加え、生保関連も動いたものの、その他で目立った大口物件が少なく前年を下回った。

巻取は携帯電話会社の案件や、出版での本文やカタログ差し込みページでの使用があったものの、チラシ、金融関連は依然低調で前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 91.5% 巻取 81.7%）

再生紙平判は在庫不足による再生紙指定の減少や、官公庁での受注減が続いており前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は一部大口物件が見られたものの、全体的には低調であり前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 79.2% 再生上質巻取 94.4% 再生上質計 83.5%）

（前年比 印刷用紙 A89.7%）

<A2 コート>

自動車、不動産、エンタメ関連等で保留となっていたカタログ、パンフレットやカレンダーなどの定期案件で動きがあったが、各業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、各種イベントの中止、延期で印刷物全般の需要が大きく減少した。出版関連で一部新規の仕事があり、グロスの巻取は前年を上回ったが、全体では前年を下回った。

（前年比 平判 85.6% 巻取 92.7% 全体 87.0%）

<A3 コート>

食品スーパー、量販店、学習塾定期案件のチラシで一部回復の動きがあった。しかし、継続的な紙離れとコロナ禍での影響が大きく前年を下回った。

（前年比 平判 92.7% 巻取 79.7% 全体 85.0%）

<ノーカーボン紙>

Go To トラベルの動きも一部見られたものの、生損保、金融関係の動きも弱く、平判に関しては一般帳票の動きが非常に弱く前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 86.0% 巻取 91.9%）

<上質フォーム>

官庁関連の納付書をはじめ一般の動きは弱かったものの、Go To トラベル案件や商品券の需要が一部見られ、前年の増税後の需要減の影響もあり、大幅な冷え込みなく前年をやや下回った。

（前年比 98.1%）

<包装用紙>

特殊両更は企業向け事務用封筒の出荷は相変わらず低調ではあったが、政府系のイベント特需と、昨年は消費増税後の買い控えで荷動きが悪かったこともあり前年を上回った。

(前年比 102.1%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途と、その他包装用途の落ち込みが依然大きく前年を大きく下回った。

(前年比 73.1%)

片艶晒は大型商業施設などの客足は戻りつつあるが回復までには至らず、引続き手提げ袋などは低調。しかし、昨年は消費増税後の買い控えで荷動きが悪かったこともあり、前年を若干上回った。

(前年比 101.3%)

両更晒は保険会社向け封筒、政府系イベント用封筒に一部動きがあり、また昨年は消費増税後の買い控えで荷動きが悪かったこともあり、前年を上回った。

(前年比 103.8%)

色クラフトは事務用封筒の出荷が引き続き低調なままで前年を下回った。

(前年比 89.3%)

純白ロールはGo To キャンペーンでお土産関連に動きは見られるが、依然としてインバウンド消費の落ち込みは大きく、前年を若干下回った。

(前年比 96.3%)

包装紙全体でも 83.3%と前年を大きく下回った。

<板紙>

コートボールはコロナ禍で中断していた土産物にも一部動きが見られたものの、引き続き低調で前年を下回った。

バレンタイン需要は昨年より少なく低調であり、卓上カレンダーも新規案件は少なかった。

高板は映画関連の使用があるものの、出版では雑誌、特に女性誌が低調で前年を下回った。

チップボールは児童本の動きは堅調だが、他の用途は鈍く板紙全体としては前年を下回った。

(前年比 89.2%)